

深く味わう
新しい九州



Feel New Kyushu

「Feel New Kyushu」は、九州各地にそれぞれ根づく「独自の食文化・風習・歴史・人」などを地域ごと・テーマごとに紹介していく企画です。

次世代エネルギーのれいめいの地を志す〈鹿児島県いちき串木野市〉

環境維新のまちづくりへの挑戦 美しい西薩のまち、いちき串木野市。

鹿児島県いちき串木野市は、2005年に串木野市と日置郡市来(いちき)町の合併で誕生した。広大な東シナ海に臨み、食の恵み豊かなまちは気候と同じく、人の気質も実に温かい。人口3万人のまちの新たな挑戦と、九州新幹線開通で身近になった観光地としての魅力を紹介しよう。

工業団地中心に地域一丸、メガソーラー事業スタート。

金とマグロのまち 海は歴史の舞台にも

薩摩半島の西北部。いちき串木野市は、東シナ海に臨む日本三大砂丘の一つ、吹上浜の北端に位置する。海に面した土地柄から水産業の歴史は古く、豊臣秀吉の時代にはすでに漁港が栄えたという。遠洋漁業は特に盛んで、現在も遠洋マグロ漁船の稼働保有船籍数は日本一。国内屈指の産金量を誇った串木野金山とあわせ、かつては「金とマグロのまち」と呼ばれていた。

環境負荷低い団地へ エネルギーパーク計画

同市が掲げるのは「いちき串木野次世代エネルギーパーク」計画だ。スマートコミュニティの展開により次世代型の環境都市を目指すもので、先月すでに経済産業省の次世代エネルギーパークにも認定された。具体的には、串木野新港に隣接する「西薩中核工業団地」を中心に、市全域に太陽光・風力・焼酎粕バイオマスなどを活用した多様な再生可能エネルギー施設を設置する。日本で最も環境負荷の小さい工業団地を実現し、将来的には次世代エネルギーと地域資源を結びつけた魅力を発信し、企業誘致と交流人口の増加を図るねらい。

中でも計画の中核の一つ、太陽光発電事業が面白い。地域で3メガを目指すメガソーラー事業今年7月に施行した再生可能エネルギーの全量買取制度によって、いまや全国各地でメガソーラー事業が盛んだが、同市の取り組みは少し視点が違う。

第一次事業完了後は市内他施設や一般家庭への普及を推進。ほか、来月から本格稼働する「串木野れいめい風力発電所」や、焼酎粕(かす)をメタン発酵するバイオマスプラントなど地域性をいかした次世代エネルギーへの取り組みも並走し、エネルギーを複合的に活用するスマートシティを目指す。地域と次世代エネルギーの今後に大いに注目だ。

行うな連携を促す。同市の場合は、初期から自然エネルギー事業者との交流が非常に盛んだった」と振り返る。



メガソーラー事業というところで行われるイメージがあるが、同市の場合には全体を一つの発電地帯と見なす。第一次事業では、工業団地内の工場と市内の学校など全15カ所にそれぞれ発電システムを設置。来年2月までに全ての工事を完了し、4月には全体で3メガワットの発電を目指す。

事業主体は発電システムを設置する企業や団体が組織する「合同会社さつま自然エネルギー」だ。総事業費10億円は参加団体が発電量に応じて出資するほか、金融機関などからも募る。買取期間20年間のうち最初の12年間を返済期間とし、返済完了後は設置先に発電システムを無償譲渡。同時に合同会社も解散し、残りの期間は各施設が売電収入を得られる仕組みだ。

第一次事業完了後は市内他施設や一般家庭への普及を推進。ほか、来月から本格稼働する「串木野れいめい風力発電所」や、焼酎粕(かす)をメタン発酵するバイオマスプラントなど地域性をいかした次世代エネルギーへの取り組みも並走し、エネルギーを複合的に活用するスマートシティを目指す。地域と次世代エネルギーの今後に大いに注目だ。

さつま揚げからジャズまで まちの底力知る、観光の魅力。

老舗焼酎蔵が挑む 県内唯一の清酒造り

同市を語るうえで「食」の魅力ははずせない。鹿児島県の名物といえばさつま揚げと芋焼酎だが、古くから漁港として栄え魚肉加工が盛んだった同市こそ、実はさつま揚げの発祥の地。地元では「つけあげ」と呼ばれ日々の食卓に並ぶ。

一方の焼酎づくりも藩政時代から行われており、今も6社8蔵元が市内に点在する。そのうちのひとつ、薩摩金山蔵は見学もできる人気蔵だ。

熱々のご当地グルメ
香り高いコーヒーも
ランチにおすすめしたいのは「まぐろラーメン」だ。串木野漁港で水揚げされたマグロでダシを引いたスープは、地元飲食業組合が同じ厨房に集い、1年間の試行錯誤の後に誕生した。数



薩摩金山蔵の東條さん。坑洞内はトロツコに乗り込み見学もできる



種類の野菜や昆布の風味も相まって、コク深く後を引くうまさ。スープと特製ちぢれ麺は共通だがトッピングは各店工夫を凝らし、自慢の一杯を提供している。



いちき串木野市 市長 田畑 誠一

市長ご自身の出身地でもある同市の魅力は？
先達の歩みである「史」、豊かな自然の「景」とその恵みの「食」、そうした土地柄にはぐくまれた人情に厚い地域性も誇ります。マグロ漁を例にあげると、先達は小さな船で大海原へこぎ出し、豪州沖やハワイ沖、南米沖など現在の漁場の多くを開拓しました。青年時代には私もマグロ船に乗りましたが、海の上は常に危険と隣り合わせです。何かやろうというときに皆が力を出し合い一丸となれる本市の気質には、こうした歴史に受け継ぐところも大きいと考えています。

発電事業の組織間の連携もスムーズと聞きます。グリーンツーリズムなども市民の協力で好評を得ているとか？
環境モデル都市に向けた事業など新しい挑戦も始まりました。産業への注目はもちろん、旅の目的地としても皆さんのお越しを市民一同お待ちしております。



パラゴン店主の須納瀬さん。店内には5000枚のジャズレコードが並ぶ



西薩中核団地分譲中 【お問合せ先】 政策課企業立地係 電話:0996-33-5628



いちき串木野市

環境モデル都市に向けた事業など新しい挑戦も始まりました。産業への注目はもちろん、旅の目的地としても皆さんのお越しを市民一同お待ちしております。

読者プレゼント
実施中

本企画に関するアンケートを日経アドネットにて実施しています。アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で20名様に「いちき串木野市オリジナル焼酎(350ml)」をプレゼントいたします。 ※未成年のご応募はできません。

日経アドネット 検索

http://adnet.nikkei.co.jp/